

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	八幡平国立公園協会事業			事業コード	1564
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	佐々木 伸司	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 広域観光推進事業(005-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 昭和32年度~)					
事務事業の概要	八幡平国立公園協会構成市町村と民間会員が相互連携し、観光客の誘致を図るために各種キャンペーン等を実施する。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
八幡平国立公園の整備促進並びに健全なる保全利用を期すため、国、県及び関係市町村に協力することを目的とし、関係団体等との連携協調、施設の保全と自然景観の保護育成、宣伝と啓蒙の強化等の事業を行うため						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
的な事業展開を希望。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
2度の岩手山噴火による風評被害や景気低迷による観光客の減少により、他の広域団体等と連携した積極的な観光客の誘致活動が重要となる。震災の影響で観光客の激減が予想され、徹底した観光客の誘致活動が望まれる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内への観光客及び市内観光事業者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市内への観光客入り込み数 B. 市内観光事業者 C.	単位 万人回 社 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 事務局として、事業の企画・立案を行うとともに、山岳ガイドマップの作成や観光客誘致キャンペーン等の事業を実施した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) FAMツアーや観光キャンペーン等を実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 観光客誘致キャンペーン B. パンフレットの作成 C. ワーキング会議の開催回数	単位 回 部 回 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	観光客誘致キャンペーンの実施と旅行代理店へのプレゼンテーションにより観光客の増加を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 八幡平国立公園協会エリアへの観光客入り込み数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】 C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位 万人回 単位 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもら	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位:%)	

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 広域的な誘客活動を展開することにより、効果的な事業を実施することができ、効率的な事業の成果が期待できる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 岩手県や広域市町村が協力、連携して実施する事業である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: テーマ性のある地域を設定し、広域連携に努める。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 広域連携を進めることにより観光地としての魅力を深め、地域連携との相乗効果を引き上げることができる。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 行政と民間との協力・協調体制を強化できる。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 盛岡市の観光資源のみで誘客するよりも、広域の観光資源を活用しながら盛岡市の拠点性を高めることにより、より多くの観光客を誘致できる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 市独自の観光客誘致キャンペーン、広域圏 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 意図・効果を勘案し、独自・協調を選択しながら連携を図ることにより、それぞれ相乗効果が期待できる。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 広域の中で行政が独自で行っている事業を共同で実施する。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 事務局を盛岡市が担当しているが、他の構成市町村または事業所に事務を移すか、分担する。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 盛岡・八幡平広域観光推進協議会が設立され、より広い枠組みでの広域観光推進を図ることとされたため、盛岡・八幡平広域観光推進協議会の事業との住み分けを考え、広域観光事業の整理・統合を図っていく必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 広域観光事業の整理・統合に当たっては、団体の構成員の重複や利害の対立が発生するおそれがあるため、特に民間事業者の構成員にメリットを与えられるような事業展開を図る必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>盛岡広域圏内4市町村で組織する団体であり、広域観光振興の核として大いに貢献している。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>構成団体の市町村、民間事業者、関係機関・団体と連携し、事業内容を見直すとともに、さらなる連携強化に努め、効果的な事業展開を図る。</p>														